

少数台数のリコール届出の公表について (令和6年5月分)
------------------------------

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和6年5月は7件の届出がありましたので公表します。

### 1. Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
5月14日	外3705	車名：DS 型式：3DA-D34YH01 通称名：DS 3 クロスバック	25台	令和 5年 3月 11日 ～ 令和 5年 5月 19日
不具合の部位等				
車内情報システム（ナビゲーション、オーディオ等の統合システム）において、制御プログラムが不適切なため、アンドロイドオートまたはアップルカープレイを使用している際にシステムが再起動するおそれがある。このため、ナビゲーションディスプレイとメータークラスターが一時的に消灯し、速度の確認が出来なくなる。また、クルーズコントロールを利用中の場合、作動が停止するおそれがある。				

### 2. ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
5月14日	外3797	車名：ジャガー 型式：ZAA-DH1AA 通称名：I-PACE 他	60台	令和 3年 9月 9日 ～ 令和 5年 11月 26日
不具合の部位等				
後部方向指示器の作動状況を検知するゲートウェイモジュールにおいて、プログラムが不適切なため、LED素子不良による不作動等を検知しないことがある。そのため、LED素子不良による不作動等が生じた場合、運転者に故障を知らせることが出来ない。				

### 3. ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
5月14日	外3809	車名：ランドローバー 型式：3CA-L123WA 通称名：レンジローバースポーツ 他	71台	令和 4年11月 5日 ～ 令和 5年 3月 5日
不具合の部位等				
右側後部灯火器アッセンブリにおいて、生産工場部品取り扱いが不適切なため、灯火器ケース内の気密状態が不良となっているものがある。そのため、雨天又は洗車時に灯火器内に水の浸入並びに錆の影響を受け、最悪の場合、灯火器が点灯（点滅）しないおそれがある。				

### 4. メルセデス・ベンツ日本合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
5月16日	外3807	車名：メルセデス・ベンツ 型式：3DA-463350 通称名：G400d	2台	令和 4年 4月 22日 ～ 令和 4年11月17日
不具合の部位等				
エアコンの冷媒において、製造指示が不適切なため、異なる冷媒が充填されている。そのため、事故等により冷媒が漏れ出した場合、火災に至るおそれがある。				

### 5. 日本フルハーフ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月17日	5476	車名：いすゞ 型式：2RG-FRR90S2 通称名：フォワード 他	27台	令和 4年 7月 18日 ～ 令和 5年 9月 4日
不具合の部位等				
バン型トラック等のシャシとボディーの締結部(前方)において、作業指示・確認が不適切なため、締結部品(ブラケットマウント)を固定する裏プレートが、トラックシャシのブレーキ配管を挟んでいる場合がある。そのため最悪の場合、ブレーキ作動時に片効きが発生するおそれがある。				

## 6. UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月21日	5468	車名：UDトラック 型式：2RG-CG5FA 通称名：クオン 他	11台	令和 3年 3月 15日 ～ 令和 5年 8月 9日

### 不具合の部位等

尿素水タンクを移設した車両において、延長ハーネス及びコネクタの防水処理が不適切なため、コネクタ内に雨水等が浸入し端子部を腐食させることがある。そのため、接続端子部で導通不良が発生すると、尿素水タンクに装着された後処理制御モジュール（ACM）等とエンジン制御モジュール（ECM）間における通信が途絶え、排出ガス後処理装置（SCR）が不作動状態になると共に、インストルメントクラスタ中央ディスプレイに“車両電制システム異常”の警告メッセージが表示される。そのまま走行を続けると、排出ガス中の窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）の排出値が基準値を超えるおそれがある。

## 7. 日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月30日	5485	車名：ニッサン 型式：ZAA-FE0 通称名：アリア 他	67台	令和 4年 2月 21日 ～ 令和 5年 4月 5日

### 不具合の部位等

駆動モータにおいて、ベアリング組付治具が不適切であったため、組付時にオイルシール用Oリングが損傷したものがある。そのため、使用過程で当該部位から駆動モータ内の冷却用オイルが漏れ、絶縁抵抗が低下し、最悪の場合、駆動モータの出力が停止して走行不能に至るおそれがある。

【参考】

●令和6年5月のリコール届出件数

	全体 (件)	内 訳 (件)	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	12(+2)	9(+1)	3(+1)
輸入車	16(+9)	12(+7)	4(+2)
計	28(+11)	21(+8)	7(+3)

※ ( ) 内は、対前年度同月比

●令和6年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数 (件)			対 象 台 数 (台)		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	6(-11)	9(-2)	15(-13)	138,920(-270,681)	8,984(-42,176)	147,904(-312,857)
5	12(+2)	16(+9)	28(+11)	360,641(+75,824)	161,635(+143,833)	522,276(+219,657)
小計	18(-9)	25(+7)	43(-2)	499,561 (-194,857)	170,619(+101,657)	670,180(-93,200)

※ ( ) 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 千葉・柏原 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361)
--